

第35号 メールマガジン 水土里

メールマガジン「水土里」とは？

静岡県内の基盤整備や施設点検の状況、農業農村整備に関する研修会等に関する情報をお知らせしています。



Webページはこちら↑

人・農地プラン実質化地域の農地巡回を行いました

東部



令和3年7月7日（水）、東部農林事務所と農業振興公社で管内の農地巡回を行いました。

今回の巡回は三島の露地野菜、函南の西瓜、沼津の茶、企業参入農地の視察を目的として行いました。

いずれの農地も実質化された人・農地プランの策定（予定）地域であり、管内を代表する守るべき農地です。

地域によっては荒廃化が目立つ農地や先日の大雨被害のある農地も一部ありましたが、条件の揃った農地が多く、人・農地プランの実質化やその他事業と上手く連携し、優良農地としての継続的な利用の支援が必要だと改めて感じました。

今後も東部農林事務所と公社は一体となって管内の人・農地プランの実質化を推進していきます。

東部農林事務所生産振興課 055-920-2158
農村整備課

西浦地区久料集落で基盤整備の勉強会を開催

東部

久料集落では、令和3年6月11日（金）に実施した人・農地プランの話し合いを行い、基盤整備への関心が高く、若い担い手比率も高いことから基盤整備事業に発展する可能性が見られました。

そこで、東部農林事務所は令和3年7月27日（火）、西浦地区の久料集落で基盤整備の勉強会を開催し、7名の生産者が参加しました。

農村整備課から概要説明を行い、意見交換を実施し、事業要件や地元負担金に関する質問などが出されました。

今後も、農村整備課・生産振興課で連携し整備の可能性をさぐっていきます。



東部農林事務所生産振興課 055-920—2158
農村整備課

東部

非農地化実務研修会を開催



東部農林事務所は令和3年7月27日（火）、市町や市町農業委員会を対象とした非農地化実務研修会を開催し、25人が参加しました。

東部農林ではB分類農地を多く抱えていますが、管内では非農地化に取り組んでいるのは一部市町に限られています。

そこで、非農地化を効果的・効率的に進めるため、農業ビジネス課から情報提供すると同時に、優良事例である富士宮市と伊豆の国市の取り組みの紹介を行い、意見交換を行いました。

既に取り組んでいる市町からは、課税部局とのデータの突合から始めるとよいこと、農業委員等の協力を得ることなどのアドバイスがありました。

一方、林業部署との課題の整理が必要なこと、登記地目の変更の課題なども明らかとなり、有意義な研修会となりました。

農林事務所では、本研修後をきっかけとして市町の非農地化をさらに支援していきます。

西部農林事務所生産振興課 055-920-2158
農村整備課

西部農林が浜松市東南部地区における農地説明会

西部

令和3年7月6日（火）、浜松市、JAとぴあ浜松、農業振興公社及び西部農林事務所は、JAとぴあ浜松南営農センター管内の担い手（畑作）を対象に、農地集積事業説明会を開催しました。

説明会では、JAとぴあ浜松から、エシャレット部会及びタマネギ部会の将来予測を鑑み、農地利用集積事業を活用して、産地を守っていく方針が示されました。

また、浜松市から、農地集積・集約を進めると、作業・移動時間の短縮と、農薬飛散対策になる旨の説明と、具体的にどのようにしていくかが説明されました。

次に、担い手全員をヒヤリングするべく、日程調整を実施しました。（7月8日、9日に実施）

会終了後の個別質疑では、農地の管理方法の違いについて話したいといった意見がありました。

西部農林事務所では、引き続き、担い手の人・農地プラン話し合いを支援していきます。



西部農林事務所生産振興課 053-458-7212

発行／静岡県経済産業部農地局農地計画課
〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号
TEL:054-221-2722 FAX:054-221-2449
E-mail:noukei@pref.shizuoka.lg.jp

協力／賀茂農林事務所
富士農林事務所
志太榛原農林事務所
西部農林事務所

東部農林事務所
中部農林事務所
中遠農林事務所